



北海道・東北



ネット

6月9日
第1号!

北海道・東北ネットワーク研究会

山形県開催 〈さくらんぼラウンド〉



H24.6.9 山形中央高校
(Sat)

記念すべき、第1回北海道・東北ネットワーク研究会が、満を持して開催されました。

県外から12名、山形県内からは25名の参加、しかも、北海道や鹿児島など、海を渡っての参加もいただきまして、日中・夜ともに、内容の濃い、非常に充実した第1回目となりました。

1 カレントピックス(鹿屋体育大学 佐藤 豊 教授)

佐藤教授からは、体育・保健体育教員へ求められる資質や能力について、学校現場の先生方が求めている情報等について、様々なデータを基に御教授いただきました。また、国民全体の運動時間や体力の現状について、データ



を用いて説明いただきました。それを踏まえて、「体づくり運動」の考え方や行い方についてお話をいただき、続いて、授業における「体づくり運動」の重要性や今後の方向性について、古川善夫教授(北海道教育大学)・鈴木和弘教授(山形大学)の両先生より、これまでの実践と研究に基づいたお話をいただきました。

2 実践事例発表

小学校からは「山形市立大郷小学校：小林桂子先生」より「第4学年：器械運動(鉄棒運動)」、中学校からは「山形大学附属中学校：吉田仁志先生」より「第1・2学年：体育理論」、高校からは「山形県立山形中央高校：佐藤若先生」より「第1学年：体育理論」の実践を発表していただきました。それぞれの発表が、各学校の児童・生徒の実態に応じたアプローチの工夫があり、しかも、その経験をもとに、さらに改良すべき点にまで言及されており、私ども指導(される?する?)主事を含め、参加された先生方も、今後の指導に大いに役立ったのではないかと思います。



3 大学における体育科教育について(山形大学 鈴木 和弘 教授)



今年度より山形大学地域教育文化学部教授になられた鈴木先生からは、「大学における体育科教育」についてお話をいただきました。時間が押して端折りながらの説明で申し訳ございませんでしたが、教員養成大学の指導についての実践をお話いただきました。

4 その他 参加者の皆さん相互の意見交換の時間が思うように取れずに申し訳ありませんでした。また、高橋からの「むちゃブリ」にもめげずに、皆さんウイット感を持って対応いただきました。流石ですね!



広島県S田さん、清水先生大喜びでした(笑)
次回は岩手県でお会いしましょう!!

がんばろう 東北!!